

平成 26 年度 三重大学教育満足度調査 報告書（概要版）

第 I 部 学部生対象

1. 調査目的 三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 26 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する全ての学部生 6,148 名
- (2) 調査時期 平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数 2,305 名 (37.5%) から、所属が不明な学生と在籍年数が 5 年目以上の学生（医学科は 7 年目以上の学生）を除いた 2,249 名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

| | 人文 | | 教育 | | | | 医 | | 工 | | | | | 生物資源 | | | 合計 | | |
|--------|------|--------|--------|--------|--------|----------|-----|------|-------|---------|---------|------|-------|-------|--------|--------|-----|----------|-----|
| | 文化学科 | 法律経済学科 | 学校養成課程 | 情報教育課程 | 生涯教育課程 | 人間発達科学課程 | 医学科 | 看護学科 | 機械工学科 | 電気電子工学科 | 分子素材工学科 | 建築学科 | 情報工学科 | 物理工学科 | 資源循環学科 | 共生環境学科 | | 生物圏生命科学科 | |
| 在籍年数 | 1年目 | 43 | 55 | 88 | 2 | 0 | 7 | 10 | 81 | 65 | 31 | 78 | 26 | 41 | 42 | 73 | 36 | 102 | 780 |
| | 2年目 | 47 | 27 | 26 | 2 | 4 | 5 | 3 | 12 | 89 | 9 | 74 | 39 | 7 | 4 | 44 | 86 | 34 | 512 |
| | 3年目 | 30 | 66 | 20 | 1 | 4 | 5 | 4 | 40 | 10 | 41 | 85 | 34 | 25 | 1 | 34 | 35 | 46 | 481 |
| | 4年目 | 33 | 45 | 47 | 7 | 4 | 4 | 5 | 43 | 28 | 24 | 37 | 23 | 29 | 9 | 28 | 44 | 53 | 463 |
| | 5年目 | — | — | — | — | — | — | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 3 |
| | 6年目 | — | — | — | — | — | — | 10 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 10 |
| 小計 | 153 | 193 | 181 | 12 | 12 | 21 | 35 | 176 | 192 | 105 | 274 | 122 | 102 | 56 | 179 | 201 | 235 | 2,249 | |
| (学部ごと) | 346 | | 226 | | | | 211 | | 851 | | | | | 615 | | | | | |

3. 結果

三重大学の教育に関する 46 項目について、平均値と満足群を算出した。

- (1) 平均値 満足の程度を表す 6 段階評定において、「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために、6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。「回答できない」を選択した学生データは、欠損値（無回答）と同様に扱った。
- (2) 満足群 6 段階評定のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3.1 大学全般についての満足度（次ページ 図 1）

4 項目の中では、「2. 三重大学の研究水準について」の満足度が非常に高かった。「1. 三重大学の教育全般について」や「4. 事務職員の窓口での学生対応」を含めた上記 3 項目は 80%以上の学生が満足しており、満足度が非常に高かった。

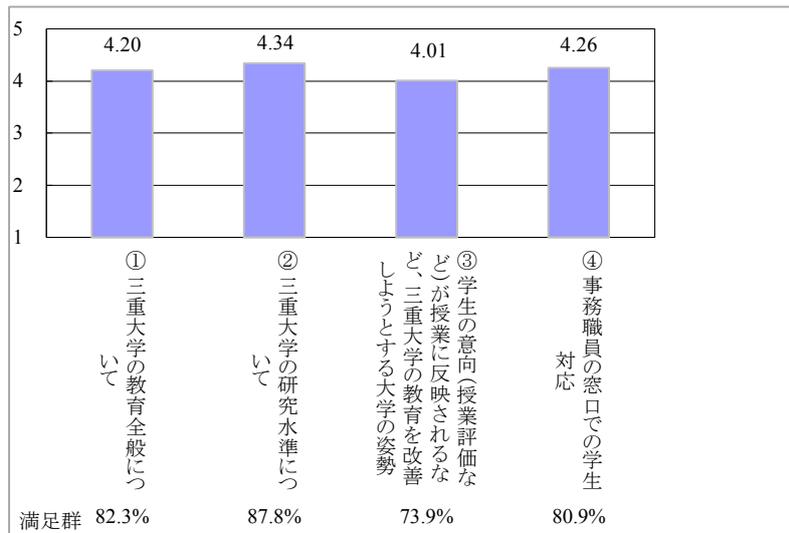


図1 平成26年度 大学全般についての満足度(学部生)

3.2 学外との連携についての満足度(図2)

「5. 留学支援や国際交流」と「6. 現場体験実習やインターンシップなどの機会」の両項目とも平均値が高く、85%以上の学生が学外との連携に対して満足していることが示された。

3.3 情報提供についての満足度(図3)

「8. ホームページなどによる大学の教育・研究活動の情報提供」については、満足度が高かった。一方、「7. 休講状況を迅速に学生に伝達するシステム」については、満足を示す学生の割合は小さかった。

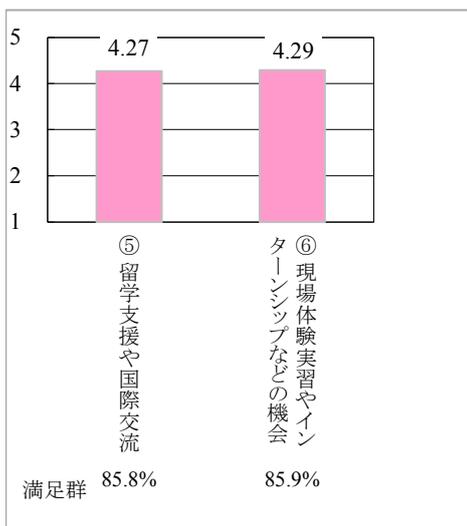


図2 平成26年度 学外との連携についての満足度(学部生)

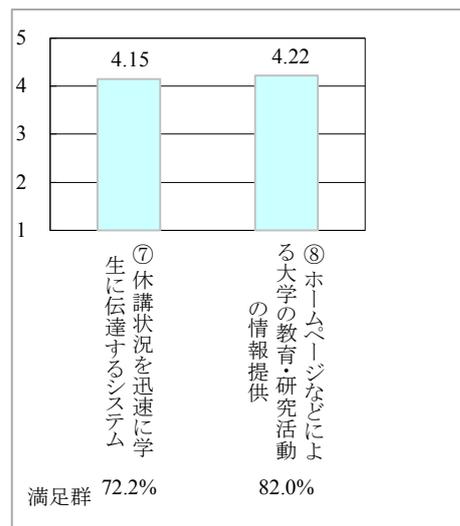


図3 平成26年度 情報提供についての満足度(学部生)

3.4 学習環境と施設・設備についての満足度

満足度が非常に高い項目が多かった。学習環境や施設・設備について、多くの学生が満足していることが示された。一方、「15. 学内のスポーツ関連施設」と「18. 駐輪場の設置場所や設置数」は、平均値が低く、満足を示す学生の割合も小さかった。

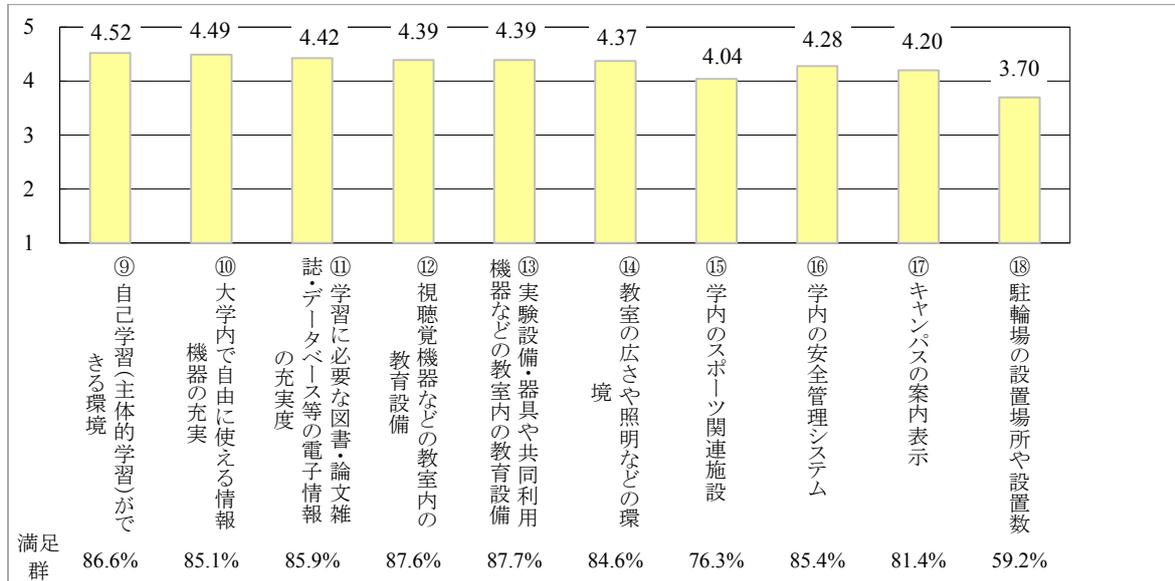


図4 平成26年度 学習環境と施設・設備についての満足度(学部生)

3.5 評価・カリキュラムについての満足度

他のカテゴリと比べると「19. 授業履修に役立つ適切なガイダンス」や「20. シラバスの有用性」など全体的に満足度がやや低かった。

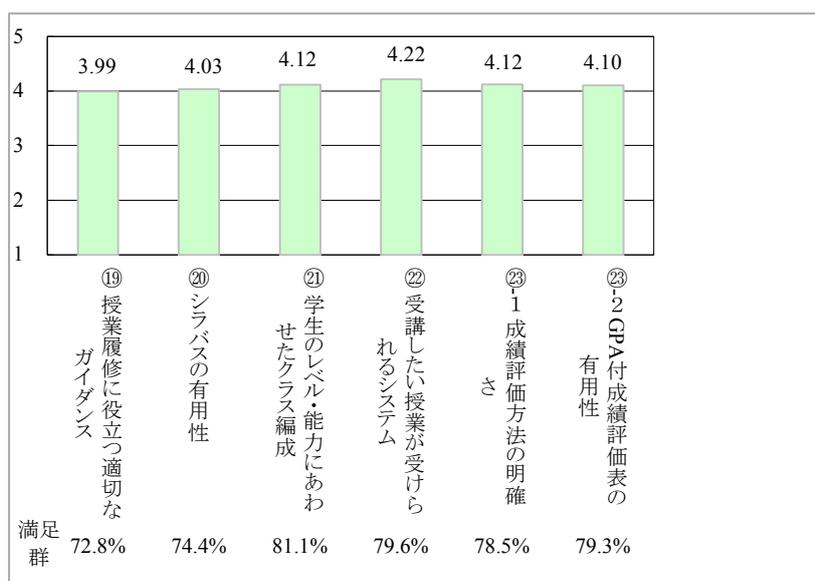


図5 平成26年度 評価・カリキュラムについての満足度(学部生)

3.6 進路支援についての満足度

他のカテゴリと比べると「26. 資格や免許を取得することに対する大学の支援」や「28. 大学院進学に役立つ教育の提供」など全体的に満足度がやや低かった。

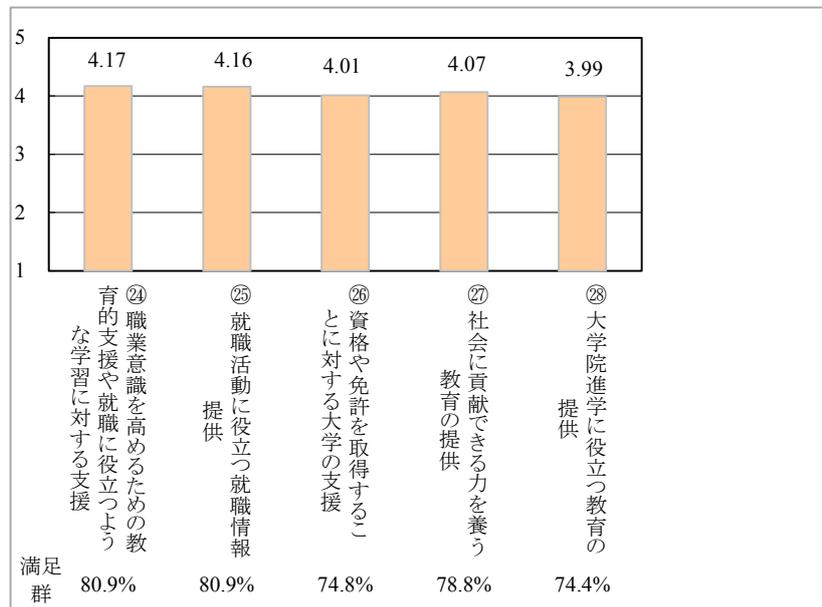


図6 平成26年度 進路支援についての満足度(学部生)

3.7 学生サポートについての満足度

どの項目も満足群について80%以上の学生が満足していることが示された。

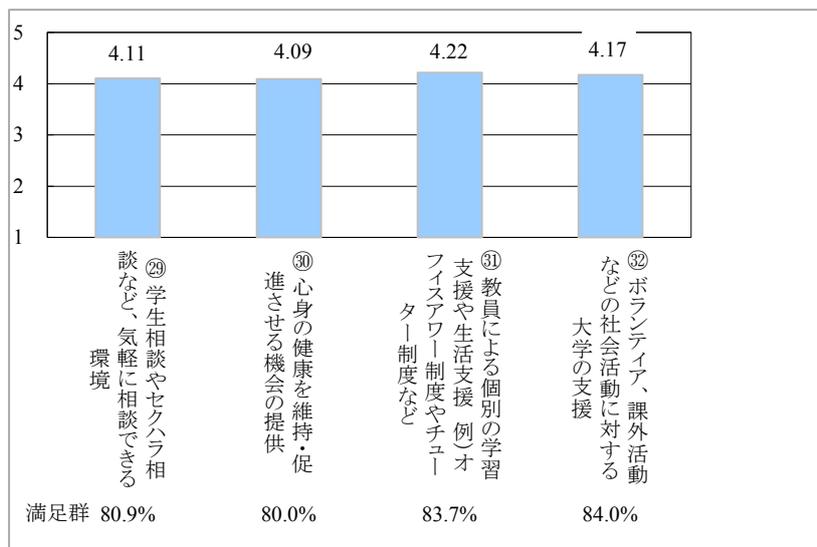


図7 平成26年度 学生サポートについての満足度(学部生)

3.8 授業についての満足度

満足度の高い項目が多かった。特に、「35. 共通教育の保健体育関連授業」や「36. 33～35以外の共通教育の授業」、「38. 幅広い教養を身につけられる教育の提供」、「39. 学部専門の授業」、「42. 実習をともなう授業」、「45. 卒業研究指導」などの平均値は非常に高く、満足している学生の割合は85%以上であった。このことから、様々な種類の授業に対して非常に多くの学生が満足していることが示された。

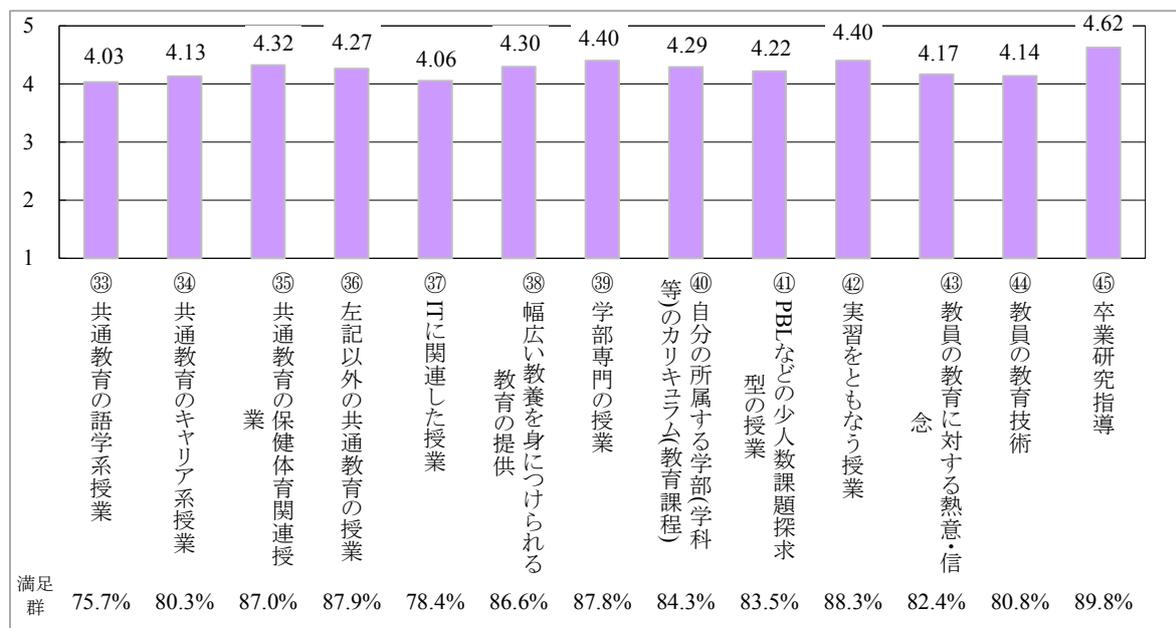


図8 平成26年度 授業についての満足度(学部生)

第Ⅱ部 大学院生対象

1. 調査目的

三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 26 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学大学院の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する全ての大学院生 1,150 名
- (2) 調査時期 平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数名 469 名 (38.9%) から、修士/博士前期課程の在籍年数が 3 年目以上の学生と博士/博士後期課程の在籍年数が 4 年目以上の学生を除いた 440 名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

| | 人文社会科学 | 教育学 | 医学系 | 工学 | 生物資源学 | 地域イノベーション学 | 合計 |
|---------|--------|-----|-----|-----|-------|------------|-----|
| 修士/博士前期 | 9 | 43 | 24 | 208 | 76 | 12 | 372 |
| 博士/博士後期 | - | - | 37 | 11 | 15 | 5 | 68 |
| 合計 | 9 | 43 | 61 | 219 | 91 | 17 | 440 |

3. 結果

三重大学大学院の教育に関する 23 項目について、平均値と満足群を算出した。

(平均値と満足群の算出については p1 を参照)

3.1 大学全般についての満足度 (次ページ 図9)

(修士/博士前期課程) 「3. 学生の意向が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢」については、満足度がやや低かった。

(博士/博士後期課程) 「2. 三重大学大学院の研究水準」と「4. 事務職員の窓口での学生対応」は、平均値が 4.5 点 (6 段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる) 以上と非常に高く、約 85% の学生が満足していることが示された。

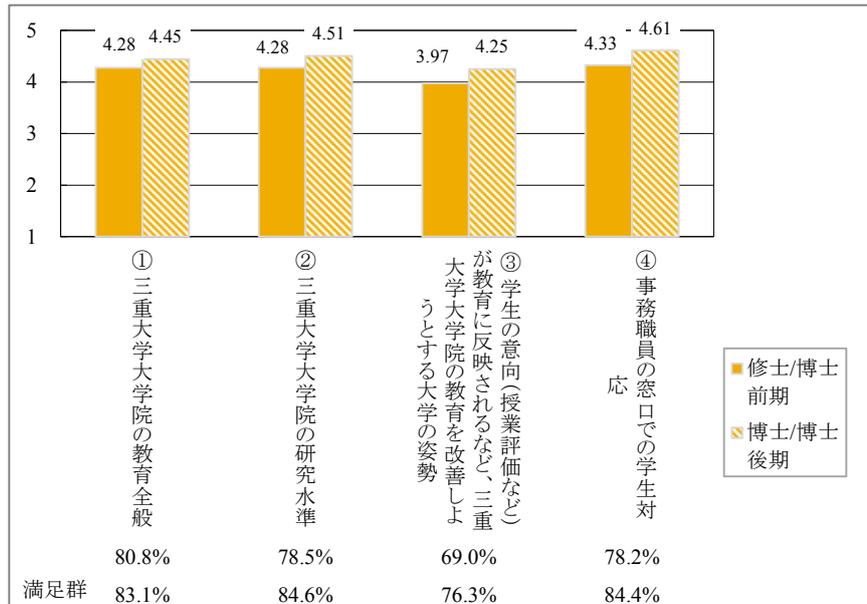


図9 大学全般についての満足度

3.2 大学院の教育についての満足度

(修士/博士前期課程) 「10. 日常的な研究指導」や「11. 学位論文指導」の平均値が4.5点(6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる)以上と非常に高く、両項目とも約90%の学生が満足していることが示された。その他にも「8. 最先端の研究や高度専門知識の教授」など満足度の高い項目が多くみられた。

(博士/博士後期課程) 全ての項目において満足度が非常に高かった。特に、「9. 現場体験や現場実習」や「10. 日常的な研究指導」、「11. 学位論文指導」は、平均値が4.5点以上と非常に高く、90%以上の学生が満足していることが示された。

「9. 現場体験や現場実習」は、修士/博士前期課程と博士/博士後期課程で満足度の傾向に大きな違いが見られた。

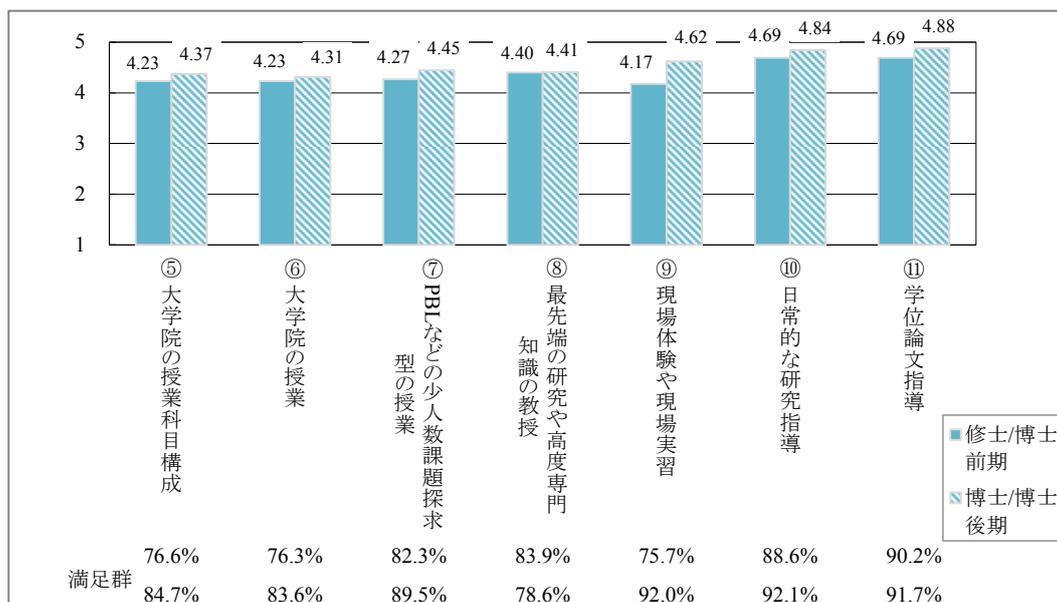


図10 大学院の教育についての満足度

3.3 研究環境についての満足度

(修士/博士前期課程) 「15. 研究室内の人間関係」は、平均値が4.5点(6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる)以上と非常に高く、90%以上の学生が満足していることが示された。

(博士/博士後期課程) 平均値が4.5点以上ある満足度の高い項目が多く見られた。一方、「14. 研究に必要な電子情報の充実」については、博士/博士後期課程の全項目中では平均値が低く、満足している学生の割合も小さかった。

「12. 研究を進めるための環境整備」や「13. 研究設備(IT環境、AV機器、実験設備等)の充実」は、修士/博士前期課程と博士/博士後期課程で満足度の傾向に大きな違いが見られた。

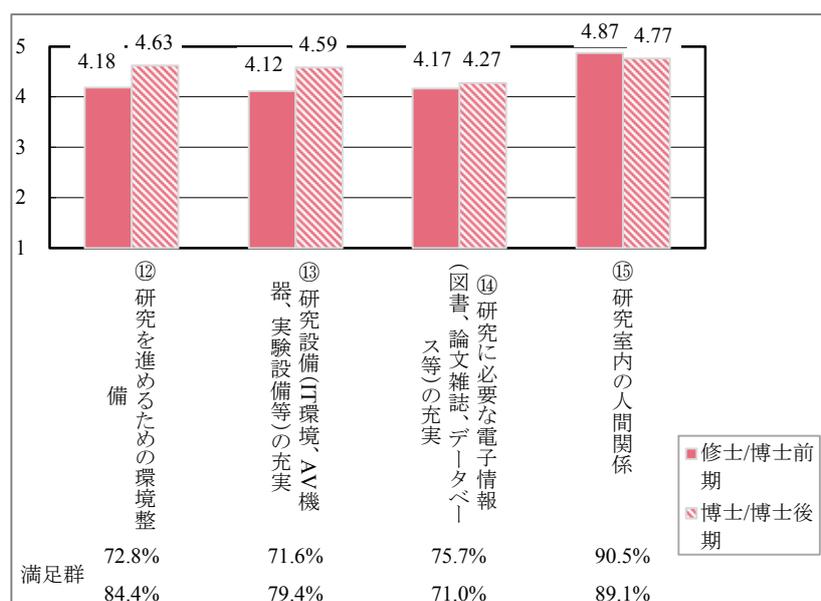


図11 研究環境についての満足度

3.4 学生サポートについての満足度 (次ページ 図12)

(修士/博士前期課程) 他のカテゴリの項目と比較すると、満足度が顕著に高い項目は見られなかった。「18. 博士課程への進学に役立つ情報提供」は、修士/博士前期課程の全項目中で最も平均値が低かった。

(博士/博士後期課程) 満足度の高い項目が多く見られた。特に、「19. 社会に貢献できる力を養う教育の提供」については、平均値が非常に高く、多くの学生が満足していることが示された。

「18. 博士課程への進学に役立つ情報提供」や「19. 社会に貢献できる力を養う教育の提供」は、修士/博士前期課程と博士/博士後期課程で満足度の傾向に大きな違いが見られた。

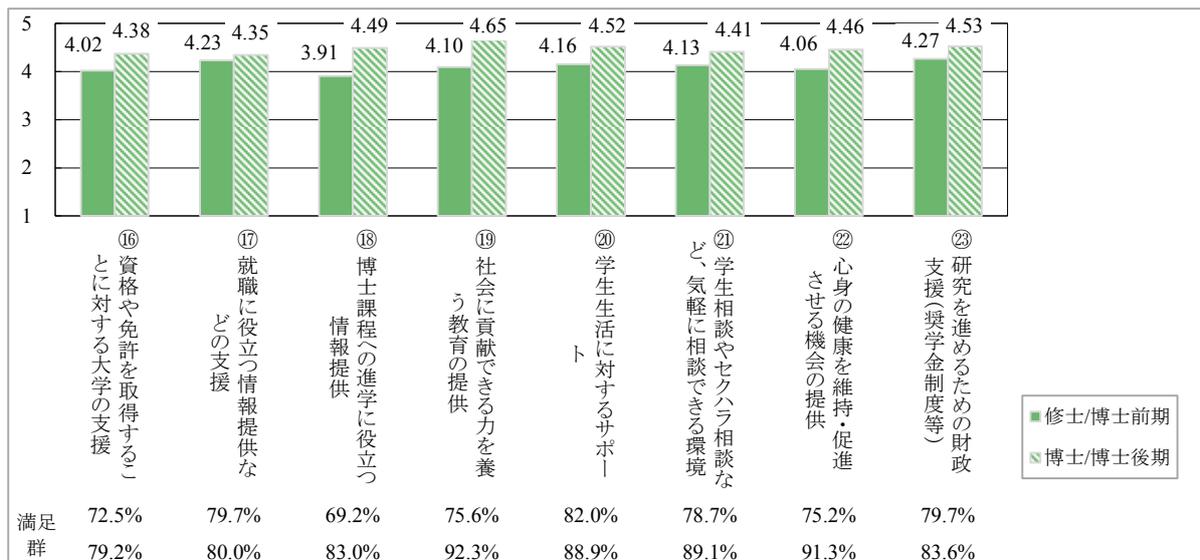


図12 学生サポートについての満足度

(お知らせ)

高等教育創造開発センターのホームページでは、各種アンケート調査の結果についての学部ごとの詳細な情報も掲載しています。詳細な結果の掲載はお時間をいただくことがありますのでご了承ください。

高等教育創造開発センター > メニュー HEDC 報告書

URL <http://www.hedc.mie-u.ac.jp/report/report.html>